

【第1部】基礎編 (Q1～Q20)

- Q1. 答え：尊敬語 (二重敬語) 解説：「せたまふ」＝帝に対する尊敬。「お書きになる」。
- Q2. 答え：謙譲語 解説：「奉る」＝差し上げる。お手紙を差し上げる相手を敬う。
- Q3. 答え：謙譲語 解説：「申す」＝言うの謙譲。聞き手 (高貴な人) を敬う。
- Q4. 答え：丁寧語 解説：「侍り」＝丁寧 (～です)。話し相手を敬う。
- Q5. 答え：尊敬語 解説：「御覧ず」＝ご覧になる。中宮に対する尊敬。
- Q6. 答え：謙譲語 解説：「参る」＝行くの謙譲。御所を敬う。
- Q7. 答え：尊敬語 解説：「おはす」＝いらっしゃる。法皇を敬う。
- Q8. 答え：謙譲語 解説：「仕うまつる」＝お仕えする。君を敬う。
- Q9. 答え：丁寧語 解説：「侍り」＝ございます。
- Q10. 答え：尊敬語 解説：「仰す」＝おっしゃる。上を敬う。
- Q11. 答え：丁寧語 or 謙譲語 解説：「候ふ」は丁寧 (～です・います) / 謙譲 (控える) の両方あり。文脈で判断。
- Q12. 答え：尊敬語 (二重敬語) 解説：「苦しま」 (未然形) + 「せ」 (尊敬の助動詞「す」連用形) + 「たまふ」 (尊敬の補助動詞)。「せたまふ」の二重敬語 (最高敬語) で帝を敬う。
- Q13. 答え：謙譲語 解説：「まうづ (参づ)」＝「行く・来」の謙譲語。「御前」 (高貴な方の御前) に参上する意。動作の向かう先である高貴な方を敬う。
- Q14. 答え：尊敬語 解説：「大殿籠る」＝お休みになる。院を敬う。
- Q15. 答え：謙譲語 解説：「賜ふ」下二段＝いただく。
- Q16. 答え：丁寧語 解説：「候ふ」＝～です。聞き手を敬う。
- Q17. 答え：尊敬語 (最高敬語＝二重尊敬) 解説：「させたまふ」は通常、最高敬語 (二重尊敬) で訳す。文脈によっては「使役 (～させなさる) + 尊敬」となる場合もあるので、主語が最高位の人物かどうかで判別する。
- Q18. 答え：謙譲語 解説：「奉る」＝「与ふ」の謙譲語 (差し上げる)。動作の受け手 (御文を受け取る相手) を敬う。
- Q19. 答え：謙譲語 or 丁寧語 解説：「侍ふ」＝控える (謙譲) / ～です (丁寧)。
- Q20. 答え：尊敬語 解説：「思しめす」＝お思いになる。帝を敬う。

【第2部】標準編 (Q21～Q50)

- Q21. 答え：謙譲語 / 受け取り手 (差し上げる相手) への敬意 解説：「奉る」は謙譲。差し上げる相手を敬う。
- Q22. 答え：謙譲 + 尊敬 / 受け取り手と中宮の両方を敬う 解説：「奉り」＝謙譲、「たまふ」＝尊敬。動作主中宮 (尊敬) と受け取り手 (謙譲) の二重敬意。
- Q23. 答え：丁寧語 解説：「侍り」＝～です・います。聞き手を敬う。
- Q24. 答え：尊敬語 (二重敬語) 解説：「させたまふ」＝最高敬語。帝に対する敬意。
- Q25. 答え：謙譲語 解説：「仕うまつる」＝お仕えする。
- Q26. 答え：尊敬語 解説：「おはします」＝「おはす」の最高敬語化。いらっしゃる。
- Q27. 答え：謙譲語 解説：「たまはる」＝いただく。「賜ふ (下二段)」と同系。

- Q28. 答え：尊敬語 解説：「仰せらる」＝「仰す」＋尊敬「らる」。おっしゃる。
- Q29. 答え：謙譲語 or 丁寧語 解説：「候ふ」＝控える（謙譲）／～です（丁寧）。文脈で判断。
- Q30. 答え：尊敬語 解説：「賜ふ」四段＝お与えになる。中宮を敬う。
- Q31. 答え：謙譲＋尊敬 解説：「奉り」＝謙譲、「たまふ」＝尊敬。受け取り手と動作主の両方を敬う。
- Q32. 答え：尊敬語（二重敬語） 解説：「せたまふ」最高敬語。
- Q33. 答え：謙譲（参り）＋丁寧（侍り） 解説：「参り」＝動作の向かう先を敬う、「侍り」＝聞き手を敬う。
- Q34. 答え：尊敬語 解説：「召す」＝お召しになる・お呼びになる。動作主を敬う。
- Q35. 答え：謙譲語 解説：「まうづ」＝「参る・行く」の謙譲。向かう先を敬う。
- Q36. 答え：尊敬語 解説：「御覧ず」＋使役・尊敬「さす」。院を敬う。
- Q37. 答え：謙譲語 解説：「たてまつる（奉る）」＝差し上げる。
- Q38. 答え：丁寧語 解説：「侍り」＝ございます。
- Q39. 答え：尊敬語 解説：「御覧ず」＝ご覧になる。中宮を敬う。
- Q40. 答え：謙譲語 解説：「まゐる」＝参上する。御父を敬う。
- Q41. 答え：尊敬語 解説：「おぼす（思す）」＝お思いになる。
- Q42. 答え：謙譲語（or 丁寧語の本動詞用法） 解説：「さぶらふ（候ふ）」＝「あり・仕ふ」の謙譲語（お仕えする）。「お仕えしている人をお呼びになれ」。文脈によっては丁寧語「あります・います」の意でも使われる。
- Q43. 答え：謙譲語 解説：「たまはる」＝いただく。
- Q44. 答え：尊敬語 解説：「思しめす」＝「思す」よりさらに高い尊敬。帝に対する敬意。
- Q45. 答え：謙譲語 解説：「まゐらす」＝差し上げる。「奉る」と同系。
- Q46. 答え：謙譲（候ひ）＋尊敬（たまふ） 解説：「候ふ」＝控える（謙譲）、「たまふ」＝動作主を敬う。
- Q47. 答え：謙譲語 解説：「まゐる」＝参上する。
- Q48. 答え：尊敬語 解説：「召す」＋「たまふ」。帝を敬う。
- Q49. 答え：丁寧／謙譲（「候ふ」）＋尊敬（「仰す」） 解説：「候ふ」は文脈で謙譲・丁寧を判別。
- Q50. 答え：謙譲語 解説：「まゐらす」＝差し上げる。

【第3部】応用編（Q51～Q80）

- Q51. 答え：「奉り」＝大臣から帝への敬意（謙譲）／「たまふ」＝作者から大臣への敬意（尊敬） 解説：謙譲は動作主から受け取り手へ、尊敬は作者（語り手）から動作主への敬意。
- Q52. 答え：「御覧じ」＋「たまふ」ともに作者から中宮への尊敬（二重敬語） 解説：尊敬の重ね＝最高敬語。
- Q53. 答え：「侍り」＝話し手から聞き手（高貴な人）への丁寧 解説：会話文の中の丁寧語は聞き手敬意。
- Q54. 答え：尊敬語（二重敬語） 解説：「思しめす」＋「せたまふ」＝最高敬語。
- Q55. 答え：尊敬語 解説：「おはします」＝最高位の「いらっしゃる」。
- Q56. 答え：尊敬語（二重） 解説：「おぼす」＋「たまふ」。動作主を敬う。
- Q57. 答え：謙譲（さぶらひ）＋尊敬（たまふ） 解説：「さぶらふ」＝控える（謙譲）／「たまふ」＝動作主を敬う。
- Q58. 答え：謙譲（申し）＋尊敬（たまふ） 解説：「申す」＝言うの謙譲、「たまふ」＝動作主を敬う。

- Q59. 答え：尊敬語 解説：「たまはす」＝お与えになる（尊敬）。
- Q60. 答え：尊敬語 解説：「仰せ言」＝ご命令、「たまふ」＝尊敬。帝を敬う。
- Q61. 答え：「さぶらは」＝話し手から君への謙譲 解説：会話文中の謙譲は聞き手・受け手への敬意。
- Q62. 答え：謙譲語 解説：「たまはる」＝いただく。
- Q63. 答え：謙譲（奉り）＋謙譲（申し）＋丁寧（侍り） 解説：3敬語連動。「奉る・申す」謙譲、「侍り」丁寧。
- Q64. 答え：尊敬語（二重敬語） 解説：「御覧ず」＋「たまふ」。最高敬語。
- Q65. 答え：謙譲（まゐり）＋尊敬（たまへ） 解説：「まゐる」＝参上する（謙譲）、「たまふ」＝中宮を敬う。
- Q66. 答え：謙譲（たてまつり）＋尊敬（たまへ）＋尊敬（仰す） 解説：3敬語の連鎖。文脈で読み解く。
- Q67. 答え：尊敬語（二重敬語） 解説：「御覧ず」＋「させたまふ」。最高敬語。
- Q68. 答え：謙譲（さぶらひ）＋丁寧（侍り） 解説：「さぶらふ」謙譲＋「侍り」丁寧。
- Q69. 答え：尊敬語（召し＋たまへ）／謙譲（申す） 解説：「召す」尊敬＋「たまへ」尊敬。「申す」は話し手の謙譲。
- Q70. 答え：尊敬語 解説：「まもる」（じつと見守る）＋「たまふ」。動作主を敬う。
- Q71. 答え：謙譲（奉ら）＋尊敬（せたまふ） 解説：「奉る」謙譲、「せたまふ」最高敬語。
- Q72. 答え：尊敬語 解説：「せたまふ」または「させたまふ」＝最高敬語。
- Q73. 答え：謙譲（申し）＋尊敬（たまへ） 解説：「申す」謙譲＋「たまふ」尊敬。
- Q74. 答え：謙譲語 解説：「奉る」＋「す」（使役）。差し上げさせる。
- Q75. 答え：尊敬語（最高敬語） 解説：「おぼしめす」＋「せたまふ」。中宮への最高敬意。
- Q76. 答え：謙譲＋尊敬（最高敬語） 解説：「さぶらふ」謙譲、「せたまふ」最高敬語。
- Q77. 答え：謙譲（まうす）＋丁寧（侍り） 解説：「まうす（申す）」謙譲、「侍り」丁寧。
- Q78. 答え：尊敬語（最高敬語） 解説：「せたまふ」最高敬語。帝に対する敬意。
- Q79. 答え：謙譲語 解説：「たまはる」＝いただく。
- Q80. 答え：「まゐら」＝話し手から御供の相手への謙譲／「申し」＝話し手から聞き手への謙譲／「侍り」＝話し手から聞き手への丁寧 解説：会話文内、3敬語の連動。

【第4部】入試レベル（Q81～Q100）

- Q81. 答え：謙譲語（絶対敬語） 解説：「奏す」＝帝・上皇に申し上げる。受け手が必ず天皇。絶対敬語。
- Q82. 答え：謙譲語（絶対敬語） 解説：「啓す」＝中宮・東宮（皇太子）に申し上げる。絶対敬語。
- Q83. 答え：尊敬語（最高敬語） 解説：「させたまふ」帝への最高敬意。「させ」を使役と取らない。
- Q84. 答え：尊敬語 解説：「しろしめす」＝お知りになる。最高敬語。
- Q85. 答え：尊敬語 解説：「のたまふ」＝おっしゃる。動作主を敬う。
- Q86. 答え：謙譲語 解説：「たてまつる」＝差し上げる。
- Q87. 答え：尊敬語 解説：「おはします」＝いらっしゃる（最高位）。
- Q88. 答え：尊敬語 解説：「たまはす」＝お与えになる。動作主を敬う。
- Q89. 答え：尊敬語（最高敬語） 解説：「のたまはす」＝「のたまふ」最高敬語化。

Q90. 答え：尊敬語 解説：「思ほす」＝お思いになる（最高敬語的）。

Q91. 答え：謙讓語（絶対敬語） 解説：「啓す」＝中宮・東宮に申し上げる。

Q92. 答え：尊敬語 解説：「御かしらおろす」＝出家なさる。「たまふ」で尊敬。

Q93. 答え：尊敬語（最高敬語） 解説：「せたまふ」帝・院などへの最高敬意。

Q94. 答え：謙讓（たてまつら）＋尊敬（せたまへ）／申す＝謙讓 解説：3敬語の連鎖。文中の人物関係を整理する必要あり。

Q95. 答え：謙讓（つかうまつり）＋丁寧（侍る） 解説：「つかうまつる（仕うまつる）」＝お仕えする。「侍る」聞き手敬意。

Q96. 答え：尊敬語（最高敬語） 解説：「せたまふ」最高敬語。

Q97. 答え：尊敬語 解説：「目見（まみ）」＋「たまふ」。動作主を敬う。

Q98. 答え：尊敬語 解説：「しろしめす」＝お知りになる（最高敬語）。

Q99. 答え：謙讓／丁寧 解説：「ひかへ」（控える）の謙讓的用法＋「侍り」丁寧。

Q100. 答え： - 「御覧じ」＝尊敬（中宮を敬う） - 「仰せられ」＝尊敬（中宮を敬う、「らる」尊敬） - 「奉り」＝謙讓（御供の人が中宮に対し） - 「まゐらせ」＝謙讓 - 「侍り」＝丁寧（聞き手を敬う）